令和6年度（令和5年度実績） 総合評価書　＜施設名　小泉交流センター ＞

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日（3年間）
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 施設の使用及び目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置 5 事業評価に関すること。

4. 採点表

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 （40点）	(1)利用状況 （10点）	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105% 以上 5 点	開館時間中（10:00～18:00）自由来館となっている。	－
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比（上記(2)適用） 119%≒利用人数(延べ人数　17,302人÷14,512人） 【小泉児童センター】 112%　≒利用人数（延べ人数　14,813人÷13,208人） 【交流スペース】 191%　≒　利用人数（延べ人数　2,489人÷1,304人） ※コロナ前である令和元年度は小泉児童センターまだなし （参考）大原児童館　R1来館者数　12,420人		前年度はいわゆるギャングエイジ学年の来館で来館者数が増加したが、今年度はその子達が高学年になりスポーツや習い事等で忙しくなり、新一年生の利用があまり伸びなかったこともあり小学生が減少した。 交流スペースにおいては、大人のサークルなどに新たに認知されたり定期的な開催につながり利用人数が増加した。 【令和5年度】 ※児童センター　来館者数　14,813人 乳幼児　3,181人　小学生　8,015人 中高生　567人　大人　3,041人 ※交流スペース　来館者数　2,489人 乳幼児　42人　小学生 254人 中高生　1人　大人　2,192人 合計来館者　　17302人 【令和4年度】 ※児童センター　来館者数　16,350人 乳幼児　3,190人　小学生　9,153人 中高生　551人　大人　3,505人 ※交流スペース　来館者数　2,244人 乳幼児　103人　小学生 125人 中高生　0人　大人　2,016人 合計来館者　18,594人 【令和3年度】 ※児童センター　来館者数　11,847人 乳幼児　3,107人 小学生　4,669人 中高生　522人　　大人　3,549人 ※交流スペース　来館者数　909人 乳幼児　33人　小学生 111人 中高生　3人　大人　762人 合計来館者　12,756人 【令和2年度】 ※児童センター　来館者数　11,429人 乳幼児　3,657人　小学生　4,005人　中高生　103人　大人　3,664人 ※交流スペース　来館者数　759人 乳幼児　0人　小学生 14人　中高生　0人　大人　745人 合計来館者　12,188人	10点

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	※別紙:事業評価表参照 【小泉児童センター】 ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計64回開催、延べ1,344名参加) ・児童を対象とした事業(計66回開催、延べ709名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計2回開催、延べ390名参加) ・中高生対象事業(計8回開催、延べ75名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計24回開催、延べ391名参加) 【地域交流スペース】 ・会議、展示会および市民活動のための施設提供に関すること(計35回開催、延べ388名参加):うち児童センター事業実施分:計20回、299名) ・その他地域交流促進のための施設提供に関すること(計17回開催、延べ180名参加)	仕様書以上13点	【児童センター】 ・乳幼児クラブ員は同数在籍していた。クラブ内容はニーズに応じて変更しながら活動をおこなった。 ・小学生クラブは子どもの意見を取り入れた。ファンシー、科学工作クラブはキャンセル待ちがでるほど人気のクラブとなっている。 ・中学生ボランティアズが活発に活動し中高生の人数増加につながった。 【交流スペース】 ・会議室を定期的に利用する団体が増えてきている。 ・映画上映会を開催し、交流センターを知るきっかけ作りができた。 ・郷土資料学習会や、生涯学習講座、技の交流事業、運動場の活用事業を新たに企画実施した。	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る　2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計57回開催、延べ844名参加) ・児童を対象とした事業(計38回開催、延べ590名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計26回開催、延べ467名参加) ・中高生対象事業(計12回開催、延べ57名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計5回開催、延べ49名参加) ※別紙:事業評価表　参照	期待以上　14点	【児童センター】 ・乳幼児事業は、コロナが落ち着き事業の参加者が増えた。 ・小学生の館イベントや体力増進事業の見直しを行い回数より内容を重視したため、人数は減少したが評判は良かった。 ・小学生クラブの加入者は例年と同じ位であったが土曜日はお稽古事と重なり参加できない人もいた。	14点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレ・備品の清掃:毎日　ガラス・照明器具の清掃:年2回　床面ワックスがけ:年3回　館庭の清掃:2週間に1回 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、こま目に様子を見て清掃している。 害虫ねずみ等の駆除　年4回	適正(普通)2点	仕様書に定める回数、実施している。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。 低木の剪定。	適正(普通)2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施している。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通)2点	適正に実施している。	
			④小規模修繕			軽微な修繕箇所を発見した際は、即座に現場において対応し、職員が処理できるレベルでの修繕を心掛けている。 輪転機保守修理29700円	適正(普通)2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路へ飛び出し注意や駐車場の使い方について日頃より伝えている。 館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通)2点	日常の業務の中で、危険個所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通)2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定。夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 コピー等館内の物はできる限り裏紙を使う。 工作ではトイレットペーパーの芯や古新聞、飲料容器等の廃材を積極的に使用している。 関係機関への連絡はメールを利用している。	適正(普通)2点	適正に実施している。	
			③バリアフリー			バリアフリーの建物の構造を活かし、点字ブロックの上に物を置かないよう周知している。	適正(普通)2点	適正に実施している。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通)2点	適正に実施している。	
			⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通)2点	適正に実施している。	

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)		①事業収支		当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	収入15,776,744円 ÷ 支出 15218332円 ≒ 104% **収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和2年度から)**			
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・館内掲示、ホームページ、SNSを活用したPRをおこない、来館者の増加につなげる努力をしている。 ・図書コーナーの多数の書籍を多く触れる事ができるように、順次ローテーションをして、子どもたちの読書への興味を刺激できるような配慮をしている。 ・学校の休業日や行事を考慮した事業実施日程を設定している。 ・一輪車クラブにおいて地域のイベントの参加依頼が増え、イベント毎にメンバーや構成を変更し練習を行った。 ・乳幼児クラブ、小学生クラブでのアンケートをふまえ、令和6年度のプログラムに反映させる。 ・年度初めに子どもスタッフの活動をどのように行いたいか意見を募り、活動の内容や役割分担を行った。	期待以上 13点	【児童センター】 ・窓口にアンケート箱を設置、投書された感想や意見は職員で共有している。 ・クラブ内でアンケートを実施し、意見を活動に反映させた。 【交流スペース】 ・会議室利用時にチェックシートを渡し、使用についての意見、感想を受け付けている。 ・新たに会議室の料金等の利用案内をわかりやすく掲示した。	13点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育ちケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育ち・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育ちWEBミーティング」・5月23日「全国子ども子育ちケアプロジェクト会議」・9月9日～10日「全国子育ちフォーラム」(オンライン)・11月11,12日「実践交流集会」子育ちの中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育ちPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修　10/25,2/25ぎふ木育サポーター研修　飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・11/9東濃ブロック研修会「表現活動…音楽」「音でコミュニケーション」～リズムにのって心も身体もはずみましょう～　中部学院大学短期大学部　幼児教育学科教授　岡田泰子先生・「表現活動…造形」「自然は教えてくれる」～あそびは、生きる力～　小規模保育ねっこ園施設長　浅野美香子先生・12/7東濃ブロック研修会「地域福祉活動」「児童センターの社会的役割と意義」中京学院大学　専任講師　全国こども福祉センター理事長　荒井和樹先生【共催:多治見市社会福祉協議会、ワーカーズコープ】・2/7合同研修会「現代の子どもたちの性について　ーいのちの話ー」愛助産院　助産師　梅木美恵子先生 【主催:多治見市消防署】・11/6火災図上訓練(FIG)	期待以上 13点	・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。 【児童センター】 ・通常事業だけでなく、地域や母親クラブとの連携を積極的に行って活動の活性化を推進している。 【地域交流スペース】 ・地元の声を大事にしながら地域との連携を積極的に行っている。	13点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施している。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施している。	0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下				88点
							全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・乳幼児、児童とも活発な取組みを実施し、母親クラブや地元の学校や地域組織とも連携を密にしながら、地域交流スペースも含め積極的に事業を展開することができた。	**極めて良好**